

# 口蹄疫のこと忘れていませんか？

## 近隣諸国では小規模な発生が続いています

宮崎県で口蹄疫の発生が確認されてから約1年半が経ちました。中国、台湾をはじめとする近隣諸国では現在も口蹄疫は発生しています。(裏面参照)

今一度、日々の飼養衛生管理を見直し、口蹄疫に警戒しましょう。  
口蹄疫発生、まん延を防止するためには、『日常の発生予防』、『早期の発見、通報』が最も重要です。

### 農場へウイルスを侵入させないポイント



- ▼ 自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底
  - ▼ 外部からの人や車を農場に入れない
  - ▼ 農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒
  - ▼ 踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置
  - ▼ 発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。
  - ▼ 家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に(導入した場合は、隔離観察を徹底) 等
- 毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。



日本は本年2月5日に「口蹄疫清浄国」に復帰しました。

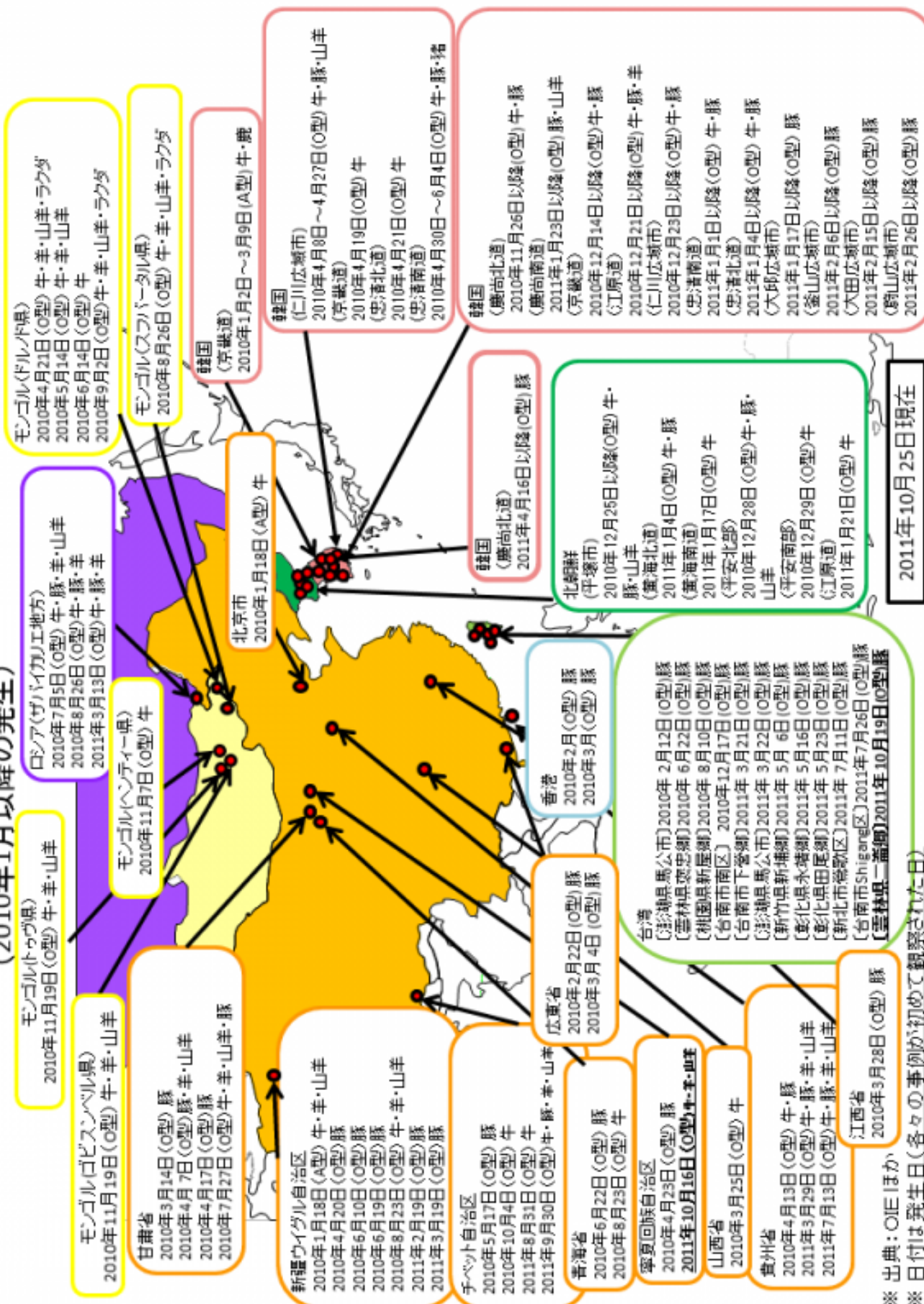
飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

# 中国、香港、台湾、韓国、ロシアにおける口蹄疫の発生状況

## (2010年1月以降の発生)



※ 出典: OIEほか  
※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)